

——土佐のまほろば

守 祝 市制



南国市は、昭和34年10月1日に市制を施行し、早くも40周年を迎えることとなりました。昭和47年に完成しました市庁舎も、歳月とともにその歴史を物語るようになってまいりました。

この40年を顧みますと、昭和53年には国立医科大学が開校され、また昭和62年の高速道路の開通など、いろいろと発展してまいりました。平成5年には全国にさきがけて「地方拠点都市地域」の指定を受け、産業業務拠点としての南国オフィスパーク事業をはじめとし、公営住宅や一般廃棄物最終処分場の整備など、生活基盤固めともいえる事業も着々と進んでおります。

また、市民の皆様が地域で安心して生活できる健康文化都市づくりも目指しております。常に、南国市の発展は、国、県など関係機関のご指導、ご協力を賜り、また、市民・執行部・議会が一丸となった努力によって今日があるものと確信し、副景都としてますます飛躍発展していくものと思っております。

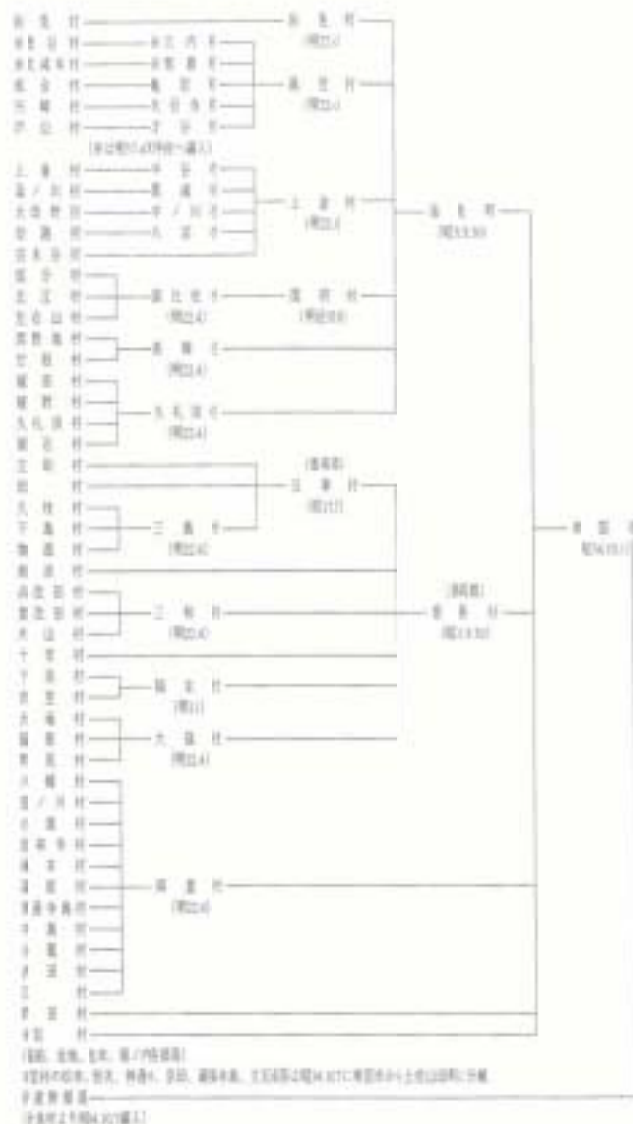
今後においても、私ども議員一同は、この40周年を契機にさらに住みよい南国市をめざし、努力をいたす決意でございます。

市制施行40周年をお祝い申し上げますとともに、市民の皆様のますますのご健勝と限りないご多幸をご祈念申し上げます。

中村 朋子 市議会議員

昭和34年10月1日、後免町、香長村、野田村、岡豊村、岩村の5カ町村が合併し、人口44,400人の「南国市」が誕生しました。

町村合併系図



——あったか南国市

施行40周年



昭和34年10月1日に南国市制が施行され、本年10月をもちまして市制施行40周年を迎えることができました。これもひとえに市民の皆様方からの温かいご支援ならびにご協力、ご助言をいただきました賜物と心から感謝し厚くお礼を申し上げます。

この間、南国市も大きく様変わりいたしました。なかでも、2002年の国体に向けて建設を進めておりました市立スポーツセンターの完成、また吾両山文化の森もオープンし、この40周年に華を添えることができました。

南国市はまさに飛躍、発展し、カー杯膨らもうとしております。この膨らみの中には、いろいろな要素を取り込まなくてはなりません。このような観点から地理的に優れた特性を生かした一層の産業の振興や生活環境の整備を行い、また行政サービスの徹底などを図り、住みたい住みよいまちづくりを推進し「新たなまほろば・南国市」を目指しております。

申すまでもなく、これらのことは行政だけの力ではどうにもなりません。市民の皆様方のご協力なしでは当然成し遂げることができないと考えております。ぜひ、皆様方の培ってきた知識、経験、若さあふれるパワーを発揮していただき、行政に積極的に参加して下さることを強く望んでおります。そうしていただくことにより、この南国市をより上昇気流へと導くことができると確信しております。よろしくお願いたします。

最後に市民の皆様方のご健康とより一層のご活躍を心からお祈り申し上げ、市制施行40周年のごあいさつといたします。

浜田 純 南国市長



▲S34.10.1付『高知新聞』
(高知新聞社提供)

